

DVD『地域で止める獣害対策シリーズ』より もっと知りたいヤツらのこと

サル

サルに何度も田畑を荒らされると「サルは運動能力が高い。何をやってもダメ」と思いがちだが、その運動能力を逆手に取れば、意外と簡単に被害を防ぐことができる。

あえて登らせて感電

サルは登るのが得意。それなら侵入防止柵にあえて登らせる。そのうえで、柵の上端に張った電気柵に触らせ、感電させる。この「登らせて感電」方式はかなり効果が高い。電気ショックで痛い目にあったサルは、

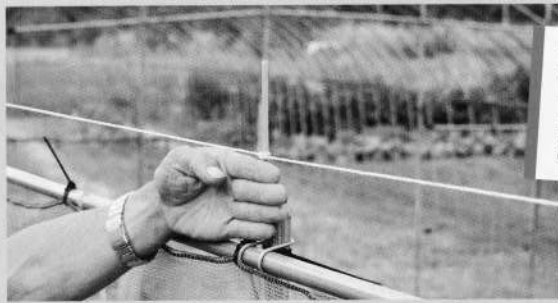
ネット+電気柵で被害激減

二度とこの柵を登ろうとはしない。つくり方には大きく2通りある。ワイヤーメッシュ+電気柵のパターンと、ネット+電気柵のパターン。いずれもホームセンターで購入できる材料を使い、比較的安価に、農家が自分で設置できるのが大きなメリットだ。

防風ネットと電気柵を組み合わせた柵が定着している山形県米沢市山土地区では、共同作業により30カ所もの畑に設置が進み、サルの被害が激減した(画像1、2)。ハクビシンなど他の動



画像1 防風ネットの上部に電気柵を張った通称「電落くん」。登ると感電することを学習したサルはこの柵を素通りする



画像2 電気柵はネットの上部7~8cmのところを1本張る。登ってきたサルは向こう側をのぞきこもうとして、顔や手で電気柵に触り、電気ショックを受ける

物の侵入も防げる。おかげで野菜づくりに熱心な農家の畑が守られ、みなどでも喜んでいる。

「放ったたら果樹」を減らせばサルの出沒も減る

山土地区では、誰も収穫しないカキやクリ、いわゆる「放ったたら果樹」の伐採にも計画的に取り組んでいる。カキやクリはサルの冬越しに絶好のエサ。それを食べさせないようにするのがおかげでサルの出沒自体が減ってきた。さらに、しつこいサルはロケット花火で追い払う。こうして総合的に対策することでサルによる被害は確実に減らせる、と住民は実感している。

(監修：農研機構 江口祐輔)

*『現代農業』2019年12月号「放ったたら果樹を伐採し、サルが素通りする集落にも参照ください」

全巻完結!

DVD地域で止める獣害対策シリーズ 全4巻

- 第1巻『獣害を止める基本』(96分)
- 第2巻『エサとすみかをなくす環境整備』(80分)
- 第3巻『侵入防止柵の張り方と管理』(130分)
- 第4巻『被害を減らすための捕獲』(100分)

全4巻40,000円+税、各巻10,000円+税。
お申し込みは巻末のハガキかFAX注文書で。
*サルの行動とそれをふまえた対策法は第1巻、山土地区の取り組みは第2巻と第3巻で詳しくご紹介しています。



DVD『地域で止める獣害対策シリーズ』より もっと知りたいヤツらのこと

みんな柵の地際をもぐりたい

野生動物が田畑に侵入しようとして柵を突破するときは、まず地際を探り、隙間を見つけてもぐる。これは動物の種類を問わず、電気柵、ワイヤーメッシュ柵、トタン柵など、どの柵に対しても共通した基本の行動だ。

足をケガしたくない イノシシやシカ

昨年の4月号で「シカが柵を突破するときは、ジャンプするよりもまず地際からもぐり込む」ことを紹介したが、これはイノシシにも当てはまる（画像

1）。イノシシに侵入された柵を点検すると、地際からもぐり込まれたケースが非常に多い。柵をジャンプして侵入するのは稀なのだ。
理由は、着地の際に足をケガしたくないから。野生動物が自力で歩けなければエサ探しができなくなる。つまりそれは「死」を意味する。イノシシが跳躍するのは、身の危険を感じたときなど、特別な場合だけだ。

おなかを見せたくない アライグマ

登るのが得意なアライグマも、柵を突破するときは、まず地際の隙間を探



画像1 ワイヤーメッシュ（溶接金網）の柵の地際を鼻で持ち上げるイノシシ。ちょっとした隙間や緩みを見つけて強引に侵入する。地際付近を隙間なくしっかり結束するのが基本（江口祐輔撮影）



電落くんの張り方
② ネットのとりつけ

提供：埼玉県農業技術研究センター

画像2 ネット柵の裾を持ち上げ、地際から侵入するサル。裾を深く土に埋め、地際からの突破を防ぐのがとても重要（埼玉県農業技術研究センター提供）

る。登るよりくぐることを優先するのだ。

そのほうがラクだし、全身をさらすことも少なくて済む。とくに骨で守られていない腹部は最大の急所。得体の知れない柵を登っておなかにダメージを被るリスクを負うより、地面により近い場所から侵入するほうを選択する。

地際の隙間を防ぐ

近年、自動撮影カメラが広く普及したおかげで、野生動物が柵を突破する決定的瞬間が次々と明らかになっている。そのなかには、木登りが得意なサルが、柵を登らずに地際から侵入する映像もある（画像2）。

上から侵入するイメージが強い動物を対象とする場合も、侵入防止柵はまず地際から侵入されないよう設置するのが鉄則、ということだ。

（監修：農研機構 江口祐輔）

地際から侵入されない上手な柵の設置法がわかる！

DVD地域で止める獣害対策シリーズ 全4巻

第3巻『侵入防止柵の張り方と管理』（130分）

侵入防止柵の鉄則／電気柵の基本／ワイヤーメッシュ柵の効果的な張り方／柵の足し算 突破された柵を補う工夫／ネット＋電気柵 電落くん・電落くんの張り方など（3～18分程度の動画を17本収録）

*シリーズ全4巻の内容は次ページをご覧ください



価格10,000円＋税。
お申し込みは巻末のハガキかFAX注文書で

DVD『地域で止める獣害対策シリーズ』より
もっと知りたいヤツらのいじり

**イノシシの
 弱点は鼻**



田畑にイノシシを侵入させない方法としてもっとも有効なのは電気柵。正しく張ればその瞬間から被害を止めることができる。

鼻から感電する

イノシシは初めて見るものはまず鼻で確認しようとする。電気柵はその習性を利用して、鼻から電気ショックを与える。イノシシの鼻は常に湿っているので電気が通りやすい。そのほかの剛毛で覆わ

れた部位ではほとんど電気ショックを感じない。つまり弱点は鼻だ。いかにして鼻で電気柵に触らせるかが対策の成否を左右する。

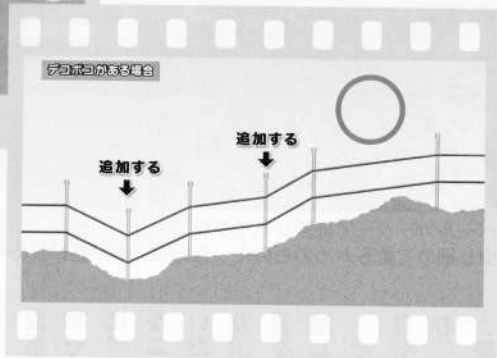
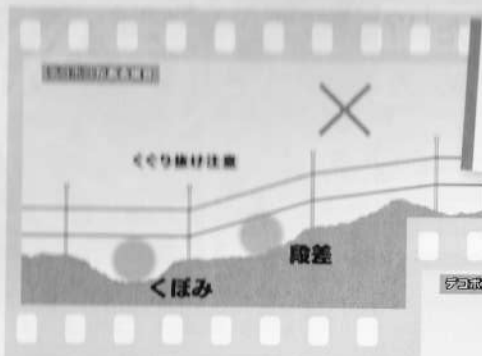
**20cmと40cmに張れば
 触りやすい**

そこで重要なのが柵線の高さ。地面から20cmと40cmの2段に張るのが鉄則だ(画像1)。20cmはイノシシが下を見たときの鼻の高さ。40cmは自然に前を向いたときの鼻の高さ。この高さに線があるとイノシシは「なんだこの邪魔なもの!」と思い、確認のため

画像1 イノシシにとって20cmと40cmに張った柵線は、跳び越えるにもくぐり抜けるにも障害を感じる絶妙な高さ。「邪魔だからどかさう」と鼻で確認した瞬間に感電、となるしかけだ



画像2 くぼみや段差では柵線と地面との間が広くなりすぎて、イノシシがくぐり抜けてしまう(左)。支柱を追加してどの柵線も地面から20cmと40cmの高さを保つ



自ら鼻で電気柵に触ってくれる。低すぎるように見えるかもしれないが、心配御無用。イノシシが電気柵を跳び越えることはまずない。もし下の柵線を30cmに上げようものなら、線を無視して下からくぐり抜けてしまう。

**くぼ地でも
 柵線は同じ高さ**

電気柵を張るのは平らな場所ばかりではない。くぼんだ所では地面と柵線との間が広くなりすぎ、くぐり抜けを許してしまう。そんなときはくぼみに支柱を足し、柵線の高さを20cmと40cmにキープ(画像2)。これでイノシシの侵入はかなり防げる。

(監修:農研機構 江口祐輔)

上手な電気柵の張り方と
 維持管理について詳しくはDVDで!
DVD地域で止める獣害対策シリーズ 全4巻

第3巻『侵入防止柵の張り方と管理』(130分)

侵入防止柵の鉄則/電気柵の基本/ワイヤーメッシュ柵の効果的な張り方/柵の足し算 突破された柵を補う工夫/ネット+電気柵 染落くん・電落くんの張り方など
 (3~18分程度の動画を17本収録)

第1巻『獣害を止める基本』(96分)

第2巻『エサとすみかをなくす環境整備』(80分)

第4巻『被害を減らすための捕獲』(100分)

**侵入防止柵の
 張り方と管理**



価格10,000円+税。
 お申し込みは巻末のハガキかFAX注文書で



画像1 電気柵を設置する時に線の高さの基準となる「目安棒」。地面から20cmと40cmに赤い印をつけてある



前回、イノシシから田畑を守る電気柵の高さは地面から20cmと40cmに張るのが鉄則、と紹介した。今回はその続き。

目安棒で「20・40の鉄則」を維持

「電気柵を張る距離が長く、線の高さを一定に張るのは大変」というときには、ちよつとひと工夫。あらかじめ支柱などに20cmと40cmに印をつけた「目安棒」を作ってお

く。そしてこの棒をあてがいながら設置作業していくのだ（画像1、2）。これならより確実に「20・40の鉄則」を守ることができる。

作業が2人以上なら、スピード重視でどんどん線を張る人と、それを追いかけて目安棒で正確に調整する人、というふうな役割分担すれば、能率は格段にアップ。実際にこの方法を集落の共同活動で実践し、全長7kmに及ぶ電気柵を半日で設置し終えた事例もある。誰でもできて、お金もかからない。この目安棒、設置したあとの点検でも大いに役立つ。

画像2 誰かが線を張った直後に、別の人が目安棒でチェックするとよい。とくに段差のあるところでは線が高く持ち上がりがちなので要注意



柵全体が20cm 40cmの高さになるよう設定していく

支柱の間隔は3m程度に

電気柵の設置期間中も「20・40」を保つのが大切。定期的に見回り、もし電気柵の線がたるんでいたら緩みを直しておきたい。線がプラブラ不安定だとイノシシの鼻にピタッと当たらず、電気ショックを与えにくくなってしまふ。支柱の間隔が離れているのが原因で垂れ下がるようなら、支柱を足す。間隔が5m以上では離れ過ぎ。平らな場所ならおよそ3m間隔が目安だ。

(監修) 農研機構 江口祐輔
取材協力 富山県南砺市 岩木・岩安自治会、JA福光

上記の事例をはじめ、上手な電気柵の張り方と維持管理について詳しくはDVDで!

DVD地域で止める獣害対策シリーズ 全4巻

第3巻「侵入防止柵の張り方と管理」(130分)

侵入防止柵の鉄則/電気柵の基本/ワイヤーメッシュ柵の効果的な張り方/柵の足し算 突破された柵を補う工夫/ネット+電気柵 楽落くん・電落くんの張り方など (3~18分程度の動画を17本収録)

第1巻「獣害を止める基本」(96分)

第2巻「エサとすみかをなくす環境整備」(80分)

第4巻「被害を減らすための捕獲」(100分)

侵入防止柵の張り方と管理



価格 10,000円 + 税。
お申し込みは巻末のハガキかFAX注文書で

DVD「地域で止める獣害対策シリーズ」より
もっと知りたいヤツらのこと

電気柵まわりの
草対策がカギ

画像1 防草シートやネットは、動物の後ろ足が地面に直接触れるように張るのがコツ。これはイノシシやシカなど大きな動物も同じ



電気柵に雑草が触れると、そこから電気が漏れる。すると電圧が下がり、動物に与える電気ショックがガクンと弱くなってしまふ。今回は電気柵の大敵！雑草を抑える工夫のご紹介。

防草シートの上は感電しにくい

イノシシやシカ用の電気柵の下に、防草シートや防草ネットを張る例が増えている。草刈りの労力が楽になると好

評だ。使うのは農業資材店などで手に入る一般的なものでいい。

シートやネットを張ることで、電気柵の線を地面から高さ5cm程度にまでグッと下げられることもできる。そうすればハクビシンやアライグマ、ヌートリアなど、より小さな動物の侵入も防げるようになる。

ただし、シートやネットの張り方にはコツがある。動物の後ろ足が土に触れるように張るのがポイントだ（画像1）。イノシシやシカ用なら電気柵の支柱から30cm以内、ハクビシンやアライグマなら15cm以内に収まるようにす

電気柵のまわりの雑草管理



画像2 電気柵の支柱を段ボールの真ん中にさして周辺の草を抑える。ギリギリまで刈り払い機を近づけて、うっかり支柱も刈るようなミスを防げる（写真提供：寺川幸生）

る。それより長くなり、後ろ足もシートを踏んでしまうようだと、動物の体に電気が通りにくくなる。当然、電気ショックは弱くなってしまふので要注意だ。

支柱まわりは段ボールで抑草

もうひとつ、刈り払い機で電気柵まわりの草を刈る場合にはこんな工夫がある。四角く切った段ボールに支柱をさし、草を抑えておく（画像2）。こうすれば刈り払い機の刃を支柱に近づけなくてすむので、うっかり支柱まで刈ってしまうミスが防げる。

（監修…農研機構 江口祐輔）

上手な電気柵の張り方と維持管理について詳しくはDVDで！

DVD地域で止める獣害対策シリーズ 全4巻

第3巻『侵入防止柵の張り方と管理』（130分）

侵入防止柵の鉄則／電気柵の基本／ワイヤーメッシュ柵の効果的な張り方／柵の足し算 突破された柵を補う工夫／ネット+電気柵 楽落くん・電落くんの張り方など（3～18分程度の動画を17本収録）

- 第1巻『獣害を止める基本』（96分）
- 第2巻『エサとすみかをなくす環境整備』（80分）
- 第4巻『被害を減らすための捕獲』（100分）

侵入防止柵の張り方と管理



価格10,000円＋税。
お申し込みは巻末のハガキかFAX注文書で

もっと知りたいヤツらのパン

DVD『地域で止める獣害対策シリーズ』より

じつは刺激臭好き!?

ちまたには、動物よけに効果があるとうたった忌避剤が数多く出回っている。それらは本当に効果があるのだろうか？ 研究者が実験した結果について、イノシシを例にご紹介したい。

木酢・ニンニク・トウガラシ……

まずは、忌避効果があるとされる「木酢やニンニク・トウガラシエキス（市販の忌避物質）」での実験。ツーンとして鼻が痛くなるほどの刺激臭を放つ液体だ。これを3頭のイノシシの前に垂らしてみた（画像1）。すると、イノシシは嫌がるどころか、われ先に

と争うように体をこすりつけ始めた（画像2）。つまり忌避効果なし。むしろイノシシはこうした刺激臭が大好き！なのかもしれない。

オオカミの尿は食べた

もう一つ、オオカミの尿でも実験を行なった。オオカミはイノシシの天敵とされており、その尿には忌避効果がある、という人もいる。そこで動物園から本物のオオカミの尿を入手し、ワラに染み込ませてイノシシの前に置いた（画像3）。10頭で試したところ、無視するイノシシもいれば、そのワラを食べてしまうものもいた。つまりオ

オオカミの尿も忌避効果なしだった。

ニオイでは追い払えない

もし「○○のニオイで追い払った」ということがあったとしても、それはこれまでと環境が変わったことにイノシシが少しの間、警戒しているだけのこと。危害が及ばないとわかれば、すぐに慣れてしまう。それが実態だ。

残念ながら野生動物を追い払う特效薬は今のところない。獣害対策は「エサとすみかをなくす環境整備」と「侵入防止柵の設置・管理」を組み合わせた「総合的な対策」がもっとも有効だ。

（監修：農研機構 江口祐輔）



画像1 強烈な刺激臭を放つ市販の忌避物質を垂らしてみると……
（画像はすべて江口祐輔提供）



オオカミの尿がしみこんだワラを食べる

画像2 イノシシが群がり、体をこすりつけ始めた



一滴を求めて 兄弟ゲンカ

画像3 本物の「オオカミの尿」が染み込んだワラを食べるイノシシ

知られざる野生動物の行動と被害の防ぎ方について詳しくはDVDで!

DVD地域で止める獣害対策シリーズ 全4巻

第1巻『獣害を止める基本』(96分)

野生動物の行動と被害対策のポイント(イノシシ、シカ、サル、ハクビシン、アライグマ、アナグマ)／総合的な獣害対策の事例——農家・住民自らの力で成果を上げる方法を紹介
(5～10分程度の動画を11本収録)

第2巻『エサとすみかをなくす環境整備』(80分)

第3巻『侵入防止柵の張り方と管理』(130分)

第4巻『被害を減らすための捕獲』(100分)



価格 10,000円＋税。
お申し込みは巻末のハガキかFAX注文書で